

## 活動報告・取材記事

### 平成 23 年度 科学技術白書にくらしとバイオプラザ21が紹介されました

#### 科学技術白書

社会とともに創り進める科学技術



文部科学省

科学技術白書は毎年、研究と教育の現状の報告と課題の解説、関係する統計をまとめ文部科学省が発行します。平成 23 年度は科学技術と社会の関係に焦点をあて、編集されました。第 1 部第 2 章第 2 節のコラム 10(83 ページ)では、NPO 法人くらしとバイオプラザ21が紹介されました。本書は以下からダウンロードできます。

[http://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/other/\\_icsFiles/afieldfile/2011/07/12/1308357\\_008.pdf](http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2011/07/12/1308357_008.pdf)

私たちの実践の積み重ねがこのようにとり上げられることができたのは、NPO 法人くらしとバイオプラザ21の活動を支えて下さっている皆さんのお陰です。今後とも応援してください。

### 平成 23 年通常総会記念講演会 郷原信郎先生



2011年5月19日 通常総会記念講演

“企業におけるコンプライアンスのあり方について”

「例えば、震災という変化に適応していくのがコンプライアンス。このような危機の今こそ組織のコンプライアンスが求められる」という言葉からお話は始まりました。花王のエコ問題や福島原子力発電所などの実例を挙げ、①ルールを作る、②ルールを生かす、③ルールを求める：ルールの創造 企業が社会の要請に鋭敏に応えられるようにルールを創って活用していけば、金融、自然、競争、情報、安全、労働などのあらゆる環境への適応が可能になる、と結ばれ、盛況のうちに講演は終わりました。

略歴：1955 年生。東京大学理学部(地質学)卒業。1980 年旧司法試験に合格。検事を経て郷原総合法律事務所を開設。総務省「年金業務監視委員会委員長」、不二家信頼回復対策会議議長、田辺三菱製薬社外調査委員会委員長。法務省「検察の在り方検討会委員」など、多数の企業・官公庁の第三者機関の業務に関わり、組織の不祥事対応の現場で活躍。日本における組織のコンプライアンス問題の第一人者。

メディアの方に知っていただきたいこと  
(遺伝子組換え作物・食品)

2011年3月



NPO 法人 くらしとバイオプラザ21

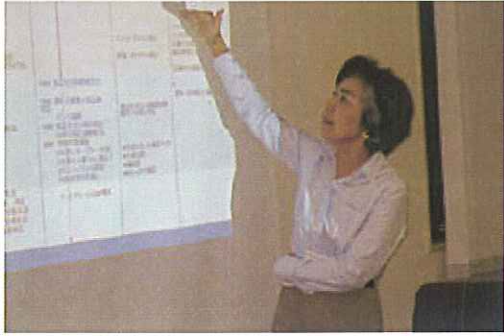
「メディアの方に知っていただきたいこと  
(遺伝子組換え作物・食品)ができました  
現在、当ホームページのダウンロード数 No.1!

2011年3月31日、私たち NPO 法人くらしとバイオプラザ21 は、日本に大量に輸入し・利用されている遺伝子組換え作物について学び整理しましたので、メディアの方にもご利用いただければと思います。冊子(全 24 ページ)を作成しました。

主な内容 ○メディアの方に知っていただきたいこと～10 項目の要約 ○遺伝子組換え食品編 ○遺伝子組換え農作物環境評価編 ○科学的な情報の読み方と伝え方  
今後もこのような周知活動を続けて行きたいと考えています。

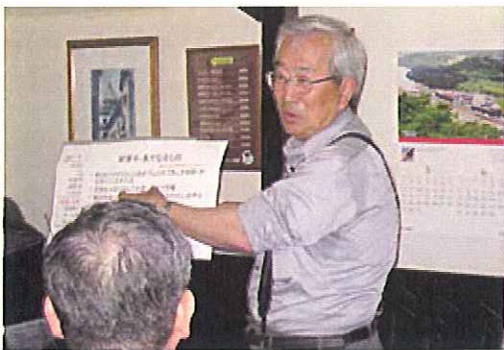
NPO くらしとバイオプラザ21 ホームページからダウンロードできます。 <http://www.life-bio.or.jp/topics/topics461.html>  
冊子を増刷しました。140 円切手 2 枚を同封してお申込み下されば、お送りします。

011年5月24日コンシューマーズカフェ コープ神戸参与 伊藤潤子さん



薬の適正使用協議会会議室にて、第3回コンシューマーズカフェを開きました。消費者や消費者団体に求められること、それは自らが変わること。消費者の存在とは？3月11日の震災後、消費者団体がいち早く、買いため自粛を呼びかけられなかったか残念に思う！コープこうべの活動からある程度身を引かれた伊藤さんは今、このようにご自身のやってこられたことを振り返りお話をいただきました。お話の後、グループディスカッションや全体討論をしました。

011年5月31日茅場町カフェ「いまさら聞けない農薬のイロハ」 日本獣医生命科学大学名誉教授 鈴木勝士さん



5月の茅場町カフェは、獣医のお立場から見た農業の話を行いました。鈴木先生は大学では生理学を教えてこられました。獣医には動物の病気を治す仕事と、動物実験を中心とした仕事があり、先生のお仕事は後者です。30年間で40万匹のラットの親子を使って遺伝の研究をされ、人間は動物の犠牲なしに生きられないことを感じていらっしゃるそうです。「農薬はリスクアセスメントの優等生だが、すべての化学物質で徹底してリスクアセスメントをするのは難しく合理的思考が大事」と、結ばれました。

011年7月26日一般農場と遺伝子組換え作物隔離圃場見学会



生物研遺伝子組換え研究推進室長 田部井 豊氏と筑波大学遺伝子実験センター長 鎌田 博氏を講師に迎え、独立行政法人 筑波農林研究団にて地遺伝子組換え作物の関連研究所、隔離圃場及び遺伝子組換えカイコ研究センター並びに従来の農場との比較見学を行いました。見学後、おふたりの先生から遺伝子組換え作物の環境影響評価、遺伝子組換え食品についてお話をききました。今年度は中学生の参加もあり、半数以上が学生という、平均年齢の若い見学会となりました。

その他 活動報告 2011年3月～8月

- 8月3日 親子バイオ実験教室 於 科学技術館
- 8月6日 観環居「キッチンサイエンス～カラーマジックケーキをつくろう」
- 8月20日 親子バイオ実験教室 於 千葉県立現代産業科学館
- 8月26日 キッチンサイエンス「カラーマジックケーキをつくろう」 於 函館青年センター

《今後の活動予定》

実験教室

10月1日 実験講座「私たちのDNA」 於 東京農工大学農学部遺伝子実験施設

10月2日 キッチンサイエンス 於 京葉ガス市川ショールーム

コンシューマーズカフェ

9月13日 くすりの適正使用協議会 会議室



2月18日 茅場町カフェ 東京テクニカルカレッジ(TTC)  
—バイオ科講師 大藤道衛さんによる  
「ゲノムの話～生まれと育ち」を聞きました。



3月4日 茅場町カフェ 農業生物資源研究所昆虫科学  
研究領域長 木内 信さんによる「遺伝子組換え  
カイコについて」を聞きました。



4月8日 茅場町カフェ 原子力研究開発機構  
小林泰彦さんによる「食品から検出される  
放射能～福島第一原子力発電所事故より」  
を聞きました。



6月10日 茅場町カフェ 農業生物資源研究所 広報室長・  
研究主幹川崎健次郎さんより「ゴーヤの大敵～  
ゴーヤを狙う国際手配されている大害虫との戦い」  
を聞きました。



7月8日 茅場町カフェ 国際基督教大学名誉教授  
吉野輝雄さんの「21世紀地球市民の  
水とのつき合い方」を聞きました。

**バイオカフェからのお知らせ**

バイオカフェは事前申込みは不要です。どうぞお問い合わせのうえ、お気軽においで下さい。音楽演奏、手づくりケーキでお待ちしています。

(会場により事前申込みが必要であったり、参加費が異なったりします。詳細はホームページ

<http://www.life-bio.or.jp/biocalfe/>をご覧ください)

今後のバイオカフェの予定 9月～ <http://www.life-bio.or.jp/biocalfe/index.html>

- 9月9日 茅場町カフェ サン茶房  
「水の生理学～カラダにとっての水の役割」
- 9月10日 観環居バイオカフェ  
「薬のできるまで」
- 9月16日 茅場町カフェ サン茶房  
「ゲノムの話 どうしてガンはできるのか」
- 10月14日 茅場町カフェ サン茶房  
「チョコレートの秘密～ポリフェノールの科学」
- 10月20日 星と風のサロンバイオカフェ  
「植物病理」
- 11月6日 千葉県立現代産業科学館  
「水と生きる」

- 11月11日 茅場町カフェ サン茶房  
「水・食のふるさとをカガクする」
- 11月12日 三鷹ネットワーク大学  
「味噌、醤油そして魚醤」 \* 申込みは事務局まで
- 11月25日 東京テクニカルカレッジ/TTC バイオカフェ  
「植物のストレス応答～私が植物から学んだこと」
- 12月15日 星と風のサロンバイオカフェ  
タイトル未定
- 1月13日 茅場町カフェ サン茶房  
「虹と雪のバラード」
- 1月28日 三鷹ネットワーク大学  
「ブランドーとリキュールの世界」



- 3月2日 メディア意見交換会「今、なぜ口蹄疫・鳥インフルエンザ」 於 ベルサール八重洲、  
主催 食の信頼向上をめざす会主催
- 3月22日 メディアとの情報交換会「東北地方太平洋沖地震と風評被害の防止に向けて」  
主催 食の安全安心財団・食の信頼向上を目指す会
- 6月24日 シンポジウム「油脂で作る健康～トランス脂肪酸をめぐる話題」  
主催 日本油化学会・ILSI Japan
- 7月2日 遺伝子組換え実験安全研修会 於 学術センター  
主催 全国大学遺伝子実験協会

講師派遣

- 1)新潟清酒研究会講演「お酒を正しくご愛飲いただくために～双方向のコミュニケーション」 5月11日(70名)
- 2)日本油化学会・油脂産業技術部会セミナー講演 2011年6月17日(30名)
- 3)筑波大学形質転換植物デザイン研究拠点公開シンポジウム講演 2011年7月12日(40名)
- 4)国立天文台 平成23年度前期の科学プロデューサー養成コース講義 2011年7月15日(10名)
- 5)東京大学 生命倫理 講義 2011年7月25日(140名)



事務局より

入会案内

バイオに興味のある方、意見をお持ちの方は協力会員に入いませんか!!当 NPO が主催するイベントの案内、発行図書などをお送りします。一緒に活動しましょう!!年会費は一口 2,000 円です。お問い合わせは、下記の電話または FAX でお願います。

編集後記

くらしとバイオ LETTER 第1号、いかがでしたでしょうか。諸般の事情から、2011年度は、従来の News Letter を休止し、手作りの紙面づくりに挑戦してみました。ホームページやくらしとバイオメールでお届けしてきた、活動報告、取材レポート、これからの活動計画をお知らせしたいと思います。パソコンの使い手の方からみたら、驚いてしまうようなレトロなやり方です。内容のことで、手法でも、お気づきのことはどうぞ教示下さい。

NPO 法人 くらしとバイオプラザ21

<http://www.life-bio.or.jp>

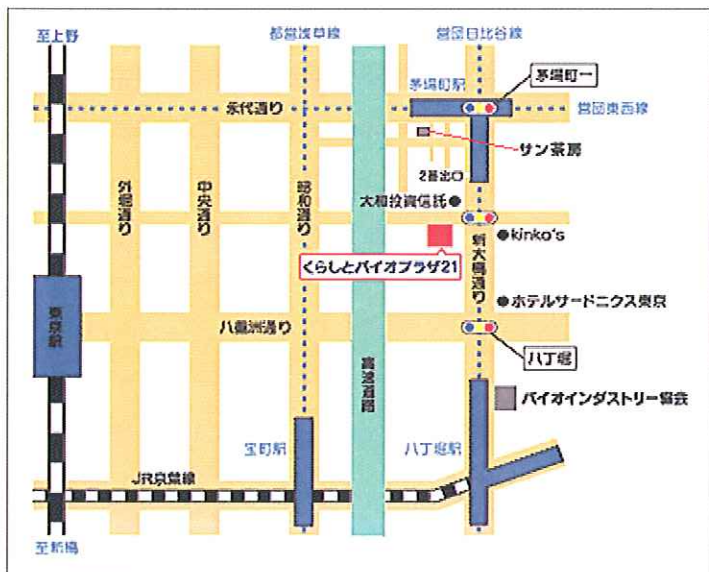
編集 佐々義子、二瓶美郷

〒103-0025

東京都中央区日本橋茅場町 3-5-3 鈴屋ビル 8 階

電話:03-5651-5810 FAX:03-3669-7810

e-mail: bio@life-bio.or.jp



●地下鉄:東西線・日比谷線「茅場町駅」2番出口 徒歩1分